

# フジプラテック株式会社

## 2018年度環境活動レポート

対象期間： 2018年1月1日 ～ 2018年12月31日 )



フジプラテック株式会社  
FUJIPURATEC CO.,LTD.

作成日： 2019年2月15日

フジプラテック株式会社  
代表 藤木廣志

～はじめに～

大阪府八尾市のフジプラテック株式会社は、射出成形（成型）によるプラスチック製品の成形、試作およびプラスチック射出成形（成型）金型の設計、製作まで一貫して行っております。試作、小ロット、量産品、アッセンブリーまでお客様のニーズに合わせて対応いたします。また他社金型のメンテナンスおよび不良品に対する適切なアドバイスや金型による品質改善を提案いたしております。

『貴方の想いを形にしたい。。。。。』  
お客様の立場に立って同じ目線で共に考えサポートさせて頂く事が私共の日々の気持ちであります。

## 環境方針

フジプラテック株式会社は、昨今ますます深刻化の一途を辿る地球温暖化や地下資源の枯渇といった環境問題が、経営において重要課題であるという認識の下に、製造を中心とした事業活動において、環境負荷の低減を図る為に地域社会と共存し、全社一丸となって安全を基盤とした環境保全活動に取り組みます。

## 行動指針

1.環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

2.以下の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ① 電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減と同時に必要なだけの環境配慮を行う。  
またそれだけではなく、自分たちに出来ることは何かということまでしっかり把握し、現状に対する課題を認識して始めることが、何より重要である。
- ② 生産工程を効率化し、産業廃棄物（廃プラスチック）を削減。
- ③ 節水活動に努め、水資源使用の節減に努めます。
- ④ 化学物質の適正管理に努めます。
- ⑤ 環境に配慮した製品・資材・サービスの購入及び当社の製品企画・開発においてもこれ

3.この環境方針は全従業員に周知・徹底するとともに、これに沿った環境活動が出来る様、教育を進めます。

制定日： 2018年4月1日

代表取締役社長 藤木 廣志

- (1) 名称及び代表者名  
 フジプラテック株式会社  
 代表取締役社長 藤木廣志
- (2) 所在地  
 本 社 大阪府八尾市八尾木1丁目224番地
- (3) 環境管理責任者氏名  
 責任者 藤木廣志 大阪府八尾市志紀町南4-87 TEL : 090-1597-3003
- (4) 事業内容  
 プラスチック製品の製造  
 主要製品:医療器具、娯楽部品、照明器具、スポーツ用品、床マット類
- (5) 事業の規模  
 製品出荷額 8,850万円  
 主要製品生産量 75トン
- |       | 本社  | 合計  |
|-------|-----|-----|
| 従業員   | 4   | 4   |
| 延べ床面積 | 218 | 218 |
- (6) 事業年度 1月1日～12月31日

**□認証・登録の対象組織・活動**

登録事業者名： フジプラテック株式会社  
 対象事業所： 本社  
 活動： プラスチック製品の製造

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	134,138	136,294	97,654
廃棄物排出量	kg	1,781	1,495	1,395
一般廃棄物排出量	kg	286	241	213
産業廃棄物排出量	kg	1,495	1,254	1,182
総排水量	m <sup>3</sup>	247	236	234

※電力の二酸化炭素排出量換算係数 0.418 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※上表の二酸化炭素排出量には灯油・LPG分含む

## □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2018年		2019年	2020年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	133,517	128,176	91,834	126,841	125,506
	基準年比	2014年	96%	69%	95%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	8,369	8,118	5,238	8,034	7,951
	基準年比	2015年	97%	63%	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	141,886	136,294	97,072	134,875	133,457
一般廃棄物の削減	kg	300	288	213	285	282
	基準年比	2014年	96%	71%	95%	94%
廃プラの削減	kg	1,529	1,468	1,182	1,453	1,437
	基準年比	2014年	96%	77%	95%	94%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	229	220	234	218	215
	基準年比	2014年	96%	102%	95%	94%
グリーン購入の推進	件数	3件	3件	5件	4件	5件
	—	2016年	100%	167%	133%	167%
不良品の削減	Kg	1743	1670	1262	1655	1638
	基準年比	2014年	96%	72%	95%	94%

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<b>電力による二酸化炭素削減</b>		
数値目標	○	今期も最大需要電力量を下げる事が出来た。夏季は冷風扇を導入し、熱を排出しないことに心掛けた。また12月度に34年の機械を排出し、新しい電動サーボ射出成形機を導入した、来季この変えた機械が消費電力削減にどれだけ貢献してくれるか楽しみである。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・機械の待機時間の短縮	◎	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・作業改善・業務改善の推進(部門別活動計画書で運用)	◎	
<b>自動車燃料による二酸化炭素削減</b>		
数値目標	○	○アイドリングストップ ○効率的なルートで配送 ○エリア別営業活動の見直し ○急加速・急停止の禁止については良好に保たれた一年であった。ガソリンは前年と同等 軽油についてはかなりの使用量の削減に繋がった。
・アイドリングストップ	◎	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	
<b>一般廃棄物の削減</b>		
数値目標	○	○分別の徹底 ○帳票見直しによる印刷物の削減 ○不要な資料等をメモ替わりに再利用 ○両面印刷の推進両面印刷の推進 毎月意識的に心がけができ無駄を省くことが出来た。
・分別の徹底	○	
・両面印刷の推進	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
<b>廃プラの削減</b>		
数値目標	○	○作業ミスによる廃棄量の削減については、条件の見直し及び作業工程の見直しで排出量が削減 ○テスト品の原料・製品の持ち帰りについては長年のお話でご理解いただき、依頼会社から率先して持って帰って頂けるようになった。日々の会話で理解を求めたことが良かった。
・作業ミスによる廃棄量の削減	◎	
・テスト品の原料・製品の持ち帰り	○	
・リサイクル業者の開拓	△	
<b>水道水の削減</b>		
数値目標	×	○節水シールの貼り付けとポスター掲示 ○こまめな節水については 日々の中で意識が出来ている。使用量が増えたものの、冷風扇を導入したことで、CO2削減にはかなり貢献している。
・節水シールの貼り付けとポスター掲	○	
・こまめな節水	○	
・シャワー蛇口の取り付け	△	
<b>洗剤の使用量削減</b>		
数値目標	○	○1月より、洗剤を変更 金型からでる油を徹底に拭くことにより、製品を拭く作業が減り洗剤の使用頻度を減らすことが出来た。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
<b>グリーン購入の推進</b>		
グリーン事務用品の検討	△	○グリーン事務用品の検討 ○購入時にグリーン購入割引き格安商品があっても、この2種類だけは、グリーンマークの入った物を購入した。今後日々使用するものでグリーンマークの入った物を購入していきたい。
購入時にグリーン購入の確認	△	
<b>不良品の削減</b>		
数値目標	○	○テスト品の原料 ○製品の持ち帰りクレーム率の低減 ○原料ロスの低減については、不良ロス率の減少を計るために、再度の条件の調整。どの工程で不良の混入が起こりやすいか再度検証し、作業工程の変更を工場長と綿密に話し合いをした。その結果持ち帰り品はほとんどなくなった。
・テスト品の原料・製品の持ち帰り	○	
・クレーム率の低減	◎	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（プラスチック樹脂等）、水銀廃棄物の適正管理
騒音・振動規制法	射出成型機、空圧機、粉砕機、クーリングタワー
フロン排出抑制法	業務用空調機
自動車NO <sub>x</sub> ・PM法	トラック1台
グリーン購入法	グリーン商品購入
消防法	危険物の保管（プラスチック材料）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し**

○電力によるCO<sub>2</sub>削減は昨年度に引き続き基準年度の**69%**と大幅な改善がみられた。前年度同様にこの1年間確実に継続が出来ている。残念ながら最大需要電力は**89KW⇒89KW**と横ばい2月だけが高かった。引き続き注意をはらい少しでも下げたい。また、導入した電動サーボ射出成形機がどれくらいの消費電力になるか期待している

○自動車燃料によるCO<sub>2</sub>削減は基準年度の**63%**と大幅な改善がみられた。前年度以上に同一方向での混載納入・荷物の出し入れのスムーズ化が定着してきた。リフトのガソリン**月50リットル**までを目標にあげたことで、使用量を気にかけるようになったことも効果があった。

○一般廃棄物も新聞紙と共に段ボールコピー用紙等は廃品回収に出すように整理することに心掛けた。○廃プラ・不良品の削減は不良品の排出頻度量と関係性があり、今年度も不良品クレームが減少し、**廃プラ・不良品の削減**にもつながった。来季も『**無駄への挑戦！！**』これをスローガンとし挑戦していきたい。